

インマヌエル中目黒キリスト教会 聖日礼拝・2008.6.1.

メッセージ

「一つの世界に！」

イザヤ19章16-25節

竿代照夫牧師



聖書朗読

旧約聖書

イザヤ書19章16-25節

16 その日、エジプト人は、
女のようになり、
万軍の主が自分たちに向かって
振り上げる御手を見て、
恐れおののく。

17 ユダの地はエジプトにとっては
恐れとなる。

これを思い出す者はみな、
万軍の主がエジプトに対して
計るはかりごとのために
おののく。

18 その日、エジプトの国には、
カナン語を話し、
万軍の主に誓いを立てる
五つの町が起こり、
その一つは、イル・ハヘレス
と言われる。

19 その日、エジプトの国の真中に、
主のために、
一つの祭壇が建てられ、
その国境のそばには、
主のために一つの石の柱が
立てられ、

20 それがエジプトの国で、
万軍の主のしるしとなり、
あかしとなる。
彼らがしいたげられて
主に叫ぶとき、
主は、彼らのために戦って
彼らを救い出す救い主を
送られる。

21 そのようにして主は
エジプト人にご自身を示し、
その日、エジプト人は主を知り、
いけにえとささげ物をもって
仕え、
主に誓願を立ててこれを果たす。

22 主はエジプト人を打ち、
打って彼らをいやされる。
彼らが主に立ち返れば、
彼らの願いを聞き入れ、
彼らをいやされる。

23 その日、エジプトから

アッシリヤへの大路ができ、
アッシリヤ人はエジプトに、
エジプト人はアッシリヤに行き、
エジプト人はアッシリヤ人と
ともに主に仕える。

24 その日、イスラエルは

エジプトとアッシリヤと並んで、
第三のものとなり、
大地の真中で祝福を受ける。

25 万軍の主は祝福して言われる。

「わたしの民エジプト、
わたしの手でつくった
アッシリヤ、
わたしのものである民
イスラエルに
祝福があるように。」

説教

「一つの世界に！」

イザヤ書**19章16節 – 25節**

竿代照夫牧師

主テキスト：

「その日、
エジプトからアッシリヤへの大路
ができ、
アッシリヤ人はエジプトに、
エジプト人はアッシリヤに行き、
エジプト人はアッシリヤ人と
ともに主に仕える。」

(イザヤ19:23)

はじめに：

グローバル預言者・イザヤ
(13-23章、地図参照)

- ・ 前回は「バビロンへの審判」
(13—14章)
- ・ 今日は、
「エジプトに対する宣告」
(19—20章)



(カッコ内の数字はイザヤ預言の「章」を示す)

1. 歴史の中でのエジプト

①古代エジプト王朝

(BC30—20世紀)

②イスラエルとの関わり

- ・ アブラハムの寄留 (2000ごろ)
- ・ ヨセフ以来の滞在
- ・ 出エジプト (1400ごろ)
- ・ シシヤク王のユダ侵攻(900ごろ)
- ・ 反アッシリヤ同盟の画策
(イザヤ時代の710頃)
- ・ パロ・ネコがヨシヤ王を
戦死させる(609)

③イザヤ時代のエジプト

- ・ 自己保全が動機の
反アッシリヤ同盟
- ・ 同盟国アシュドデが敗北
(711、イザヤ20:1)
- ・ イザヤは「親エジプト党」を
徹底的に批判 (30:1—2)

2. エジプトへの審判

(19: 1—15)

「エジプトは頼むに足らず」、
その弱体化は自明

①自滅的 (2節)

②自然災害 (5—7節)

③知恵者の不足 (13節)

3. エジプトの回復(19:16—22)

審判のあとで、
エジプトは回復する
(6回の「その日」)

①神とその民への恐れ(16—17節)

②イスラエルへの同化 (18節)

③主(ヤハウェ)への信仰(19-20節)

④主による癒し(21—22節)

4. 終末における世界的祝福 (23—25節)

①一つの世界(23節)：
あらゆる国民が主(ヤハウェ)に
仕える

②一つの民(24節)：
世界全体が和解する

③ひとりの神(25節)：
神がそれぞれの民を祝福する
(出5:1、イザヤ43:7)

キリストによる成就(エペソ3:6)

おわりに:

キリストにある平和の創出を！

(マタイ5:9)